

ウォーキング

十四川・海蔵川の桜ウォーク

令和 7 年 4 月 5 日 (土)

1. ルート 近鉄富田駅～十四川のさくら並木～志氏神社～羽津城跡～海蔵川河原
～川原町駅

9.0 km (14,000 歩)

2. 参加者 伊橋健治・伊藤利男・喜吉 雄・高木 勉・伝田 貢・中村軍志
中村 衛・濱田 一

8 名

3. ドキュメント

3 月の梅林の花見に続いて今月も桜の花見を計画した。3 月中旬ごろから桜のたよりがあらこちらから届き始めるとこの地でも月末から開花が始まった。10 時に近鉄富田駅に集合して歩き始めると目の前にいきなり桜が目に入る。それも満開の見事な桜並木である。十四川の左岸を山手に向かって 500m 程歩き、右岸に移って引き返す。露店も出て多くの人で賑わっている。



十四川のさくら



十四川の桜並木は堤の両岸 1.2 キロにわたってソメイヨシノが約 800 本植えられている。大正 14 年に地元製網業を営んでいた伊藤勘助氏ほかの有志により植樹したのが始まりであると立札に書かれていました。

近鉄踏切を渡って南富田町に入って右に曲がるとすぐのところに薬師寺があり立ち寄る。もう一歩歩いていくと浄土真宗の常照寺があり手入れの整った庭には親鸞聖人の立像があった。この寺内で一休みさせて頂く。この地域は茂福町で珍地名であり地域外の人は殆ど読める人はいないとのことである。『モチブクチョウ』と読むとのこと。常照寺で一休みしてすぐの道端に力石に因んだモニュメントがあった。この地で明治時代に2ヶ寺の改修があり、その時集められた礎石の中の一つを男たちが力比べをして遊んだとのことである。大きい方は120Kg、小さい方は19kgらしい。小さい方を喜吉さんが持ち上げるも上がらない、セメントで土台にくっ付けられていたので一同大笑い。



薬師寺



常照寺の境内

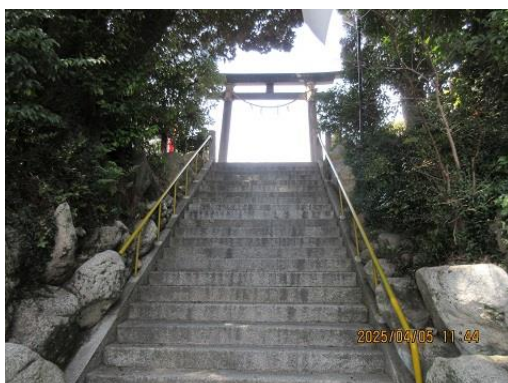


常照寺の親鸞聖人像



力石

茂福町の住宅地を進んでいって町並みが途絶えたところで右に曲がって田園の広がるところを歩く。近鉄線路を渡り返して羽津地区に入る。羽津には志氏(シデ)神社が祀られている。羽津と言えはかつて昭和四日市石油の社宅があった地区でみんなにとってなじみのあるところである。ここで途中参加の高木氏と合流する。



志氏神社の参道階段



志氏神社の社殿

志氏神社から 400m位歩いたところに羽津城跡がある。ここも桜が満開で花見に絶好の場所である。近鉄で名古屋に向かうとき暗渠というか小さなトンネルを通過する。この上が羽津城跡であることを初めて知った。



羽津城の本丸跡



羽津城跡の桜



海蔵川堤防の桜

真っ盛りとなる。現役の時の話や同僚の現況、自身の体調など話題にことを欠かない。やっと立ち上がったのが 14 時 20 分、国道一号の海蔵橋を渡って万古会館の前を通って河原町駅に到達する。桜を満喫したウォーキングであった。

羽津城跡を後にして阿倉川駅の前を通過して海蔵川に向かう。万古町を抜けて海蔵川の堤防に上がると視界が広がる。残念ながら古木があり、花見客に被害を与えないように今年の『海蔵川花まつり』は中止された。やはり人々の姿は少ない。それにしても四日市市の対応の拙さを感じる。12 時 40 分、河川敷にシートを敷いて座り込む。ビールで乾杯した。差し入れのお酒けが 3 本もあり花見宴会



ユキヤナギの前で記念撮影